

下に列挙した生物学に関係する書籍から、少なくとも1冊を図書館から借り出して（あるいは書店で購入して）初めから終わりまで読む。

レポートはパソコンのワープロソフトを使って印刷し、文字の大きさは10ポイント程度、フォントは明朝体（この文書の書体）とし、A4版1ページ以上書く。ただし、1ページの紙面を十分な字数で埋めてあり、指示に従ってきちんと書かれていれば、1ページで十分に満点の対象であり、無理に2ページ以上にする必要はない。2ページ以上になってしまったときは、紙を節約し、扱いやすくするために、両面印刷にする。

レポートは読みやすくするため、必ず数行～10行程度の段落に分けて書く。段落の最初の行の左端は、この文章と同様に、1文字分右へ下げる。

構成は次のとおりとする。内容の1. 要約、2. 意見・感想、3. 自分の考え、の3部分を、はっきりと区別できるように別の段落に分け、段落の最初に番号と章のタイトルを付ける。表紙を別につける必要はない。

タイトル：読んだ書籍の題名、著者、出版社

学籍番号と氏名：改行してタイトルの右下に書く。

レポートの内容：

1. 書籍の構成（箇条書きでなく、文章で説明する。レポート全体の1/3を越えないこと。）
2. 書籍の内容に対する自分の意見・感想

書籍の内容の一部に対してしか意見・感想を書いていないなど、書籍を初めから終わりまで読んだのかどうか疑わしいレポートは大幅減点とするので、必ず全部読んで、書籍の全体に対してレポートを書く。関連する他の書籍も加えて読んで比較することが望ましい。

3. 大学での勉強・卒業後の仕事に生物学の知識をどのように生かすか、自分が考えたこと

その書籍を読んで、あるいは他の書籍を加えて読んで、生物学の知識を大学での他の勉強、また、卒業後の土木技術者としての仕事（他学科の人はその職業）にどのように生かしたいと考えるか、自分が考えたことを書く。生物・生態学のこれまでの授業で学んだことを含めて書いても構わない。自分だけの利益となるよう生かすのではなく、社会のため（世のため人のため）に生かすことを考えることが望ましい。

文体は、常体（…だ。…である。）とする。敬体（…です。…ます。）を使ってはならない。常体と敬体を混ぜて書いたレポートは受け付けない。

レポートは、6点満点で評価する。未提出者は定期試験の受験を許可しない（＝単位を出さない）。

提出期限：7月17日（水）「生物・生態学」の授業時

これらの書籍はすべて大学の附属図書館にある。左端の番号・記号は図書館の請求記号（本の背についているラベルの番号）である。大部分が図書館の2階、3階にあるが、一部は1階あるいは書庫などにある。どこにあるか、あるいは貸出中か、図書館ホームページで調べることができる。ただし、多くの本が貸し出されてしまった後は、この方法では調べるのに時間がかかるので、この文書を見ながら、図書館の書棚を請求記号順に歩いて探すことも勧める。

ここに列挙されていない生物学分野の書籍をレポートの対象にすることもできるが、必ず内田に事前に申し出て許可を得ること。この後7月に再度「生物・生態学」（生態学分野）で、また2年後期「生態工学」でも同様のレポートを課すので、生物学関係の書籍と見えてもそちらの対象書籍となっていることがある。生物・生態学（生態学分野）・生態工学の対象書籍となっているときは、重複を避けるため、許可しない。それらの対象書籍は、それぞれ次のページの最下部のリンクをクリックして表示される文書に掲載されている。

- ・生物・生態学（生態学分野）<http://aitech.ac.jp/~s-uchida/syllabus-biology&ecology.htm>
- ・生態工学 <http://aitech.ac.jp/~s-uchida/syllabus-ecoleng.htm>

049|A「環境学がわかる」AERA Mook 4、朝日新聞社

049|A「生命科学がわかる」AERA Mook 35、朝日新聞社

049|A「新環境学がわかる」AERA Mook 46、朝日新聞社

049|A「生物学がわかる」AERA Mook 54、朝日新聞社

049|A「植物学がわかる」AERA Mook 71、朝日新聞社

049|A「新版 環境学がわかる」AERA Mook 104、朝日新聞社

069|Y「博物館でまなぶ：利用と保存の資料論」八尋克郎、布谷知夫、里口保文編著、東海大学出版会、2011.

081|C「人類生物学入門」香原志勢著、中公新書 382

081|C 「生命を捉えなおす：生きている状態とは何か 増補版」清水博著、中公新書 503
081|C 「先天異常の医学：遺伝病・胎児異常の理解のために」木田盈四郎著、中公新書 643
081|C 「毒の話」山崎幹夫著、中公新書 781, 1985.
081|C 「植物のバイオテクノロジー」鎌田博・原田宏著、中公新書 787
081|C 「ヒマワリはなぜ東を向くか：植物の不思議な生活」瀧本敦著、中公新書 798
081|C 「発酵：ミクロの巨人たちの神秘」小泉武夫著、中公新書 939
081|C 「免疫学の時代：自己と外界の認識ネットワーク」狩野恭一著、中公新書 973
081|C 「薬の話」山崎幹夫著、中公新書 1048, 1991.
081|C 「現代思想としての環境問題：脳と遺伝子の共生」佐倉統著、中公新書 1075
081|C 「ゾウの時間ネズミの時間：サイズの生物学」本川達雄著、中公新書 1087
081|C 「生命世界の非対称性：自然はなぜアンバランスが好きか」黒田玲子著、中公新書 1097
081|C 「いのちとリズム：無限の繰り返しの中で」柳澤桂子著、中公新書 1210
081|C 「細菌の逆襲：ヒトと細菌の生存競争」吉川昌之介著、中公新書 1234
081|C 「がん遺伝子の発見：がん解明の同時代史」黒木登志夫著、中公新書 1290
081|C 「遺伝子の技術、遺伝子の思想：医療の変容と高齢化社会」広井良典著、中公新書 1306
081|C 「皮膚の医学：肌荒れからアトピー性皮膚炎まで」田上八朗著、中公新書 1467, 1999.
081|C 「薬はなぜ効かなくなるか：病原菌は進化する」橋本一著、中公新書 1528
081|C 「つぼみたちの生涯：花とキノコの不思議なしくみ」田中修著、中公新書 1552, 2000.
081|C 「ダイエットを医学する：人類は丸くなっている？」蒲原聖可著、中公新書 1599, 2001.
081|C 「タンパク質の生命科学：ポスト・ゲノム時代の主役」池内俊彦著、中公新書 1618
081|C 「科学捜査の事件簿：証拠物件が語る犯罪の真相」瀬田季茂著、中公新書 1620, 2001.
081|C 「胎児の複合汚染：子宮内環境をどう守るか」森千里著、中公新書 1638
081|C 「言語の脳科学：脳はどのようにことばを生み出すか」酒井邦嘉著、中公新書 1647, 2002.
081|C 「ふしぎの植物学：身近な緑の知恵と仕事」田中修著、中公新書 1706
081|C 「親指はなぜ太いのか：直立二足歩行の起原に迫る」島泰三著、中公新書 1709, 2003.
081|C 「生物兵器と化学兵器：種類・威力・防御法」井上尚英著、中公新書 1726, 2003.
081|C 「感性の起源：ヒトはなぜ苦いものが好きになったか」都甲潔著、中公新書 1772
081|C 「頭痛の話：片頭痛から遺伝子異常まで」古井倫士著、中公新書 1783
081|C 「感染症：広がり方と防ぎ方」井上栄著、中公新書 1877, 2006.
081|C 「遺伝子・脳・言語：サイエンス・カフェの愉しみ」堀田凱樹・酒井邦嘉著、中公新書 1887, 2007.
081|C 「雑草のはなし：見つけ方、たのしみ方」田中修著、中公新書 1890, 2007.
081|C 「核爆発災害：そのとき何が起こるのか」高田純著、中公新書 1895, 2007.
081|C 「健康・老化・寿命：人といのちの文化誌」黒木登志夫著、中公新書 1898, 2007.
081|C 「コラーゲンの話：健康と美をまもる高分子」大崎茂芳著、中公新書 1917, 2007.
081|C 「酸素のはなし：生物を育ててきた気体の謎」三村芳和著、中公新書 1925, 2007.
081|C 「肺の生活習慣病(COPD)：咳、痰、息切れを疑う」木田厚瑞著、中公新書 1960, 2008.
081|C 「心の脳科学：「わたし」は脳から生まれる」坂井克之著、中公新書 1972, 2008.
081|C 「都会の花と木：四季を彩る植物のはなし」田中修著、中公新書 1985, 2009.
081|C 「感染症の中国史：公衆衛生と東アジア」飯島渉著、中公新書 2034, 2009.
081|C 「突然死の話：あなたの心臓に潜む危機」沖重薫著、中公新書 2057, 2010.
081|C 「胃の病気とピロリ菌：胃がんを防ぐために」浅香正博著、中公新書 2077, 2010.
081|C 「寄生虫病の話：身近な虫たちの脅威」小島莊明著、中公新書 2078, 2010.
081|C 「ニッポン「亜熱帯」化宣言：そしてグローバル・ウイルスが逆襲する」藤田紘一郎著、中公新書ラクレ L97
081|D 「進化連続か断続か」S.M.スタンレー著、同時代ライブラリー121、岩波書店
081|I 「インフルエンザ：人類最後の大疫病」W.I.B.ビヴァリッジ著；林雄次郎訳、岩波新書 黄版 42, 1978.
081|I 「腸内細菌の話」光岡知足著、岩波新書 黄版 58
081|I 「足の話」近藤四郎著、岩波新書 黄版 101
081|I 「生命を探る」江上不二夫著、岩波新書 黄版 112
081|I 「筋肉のなぞ」丸山工作著、岩波新書 黄版 121
081|I 「ウイルスとガン」畑中正一著、岩波新書 黄版 159
081|I 「胃がん」榊原宣著、岩波新書 黄版 162
081|I 「動物の体はどのようにしてできるか：発生生物学入門」岡田節人著、岩波新書 黄版 177
081|I 「分子遺伝学入門」石川辰夫著、岩波新書 黄版 181
081|I 「虫歯はどうしてできるか」浜田茂幸著、岩波新書 黄版 183
081|I 「人間の生と性」近藤四郎・大島清著、岩波新書 黄版 186
081|I 「DNA と遺伝情報」三浦謹一郎著、岩波新書 黄版 265

081|I 「水俣病は終わっていない」原田正純著、岩波新書 黄版 293
 081|I 「アレルギーの話」矢田純一著、岩波新書 黄版 295
 081|I 「性の源をさぐる：ゾウリムシの世界」樋渡宏一著、岩波新書 黄版 345
 081|I 「ガン遺伝子を追う」高野利也著、岩波新書 黄版 352
 081|I 「試験管のなかの生命：細胞研究入門」岡田節人著、岩波新書 黄版 387
 081|I 「生物進化を考える」木村資生著、岩波新書 新赤版 19
 081|I 「動物の本能」桑原万寿太郎著、岩波新書 新赤版 59
 081|I 「生命の起源を探る」柳川弘志著、岩波新書 新赤版 68
 081|I 「がんの予防」小林博著、岩波新書 新赤版 71
 081|I 「子どもと自然」河合雅雄著、岩波新書 新赤版 113
 081|I 「色彩の心理学」金子隆芳著、岩波新書 新赤版 134
 081|I 「老いと健康」吉川政己著、岩波新書 新赤版 140
 081|I 「現代ウイルス事情：インフルエンザからエイズまで」畑中正一著、岩波新書 新赤版 224, 1992.
 081|I 「アレルギー」矢田純一著、岩波新書 新赤版 326
 081|I 「小鳥はなぜ歌うのか」小西正一著、岩波新書 新赤版 338
 081|I 「からだの設計図：プラナリアからヒトまで」岡田節人著、岩波新書 新赤版 358
 081|I 「細胞から生命が見える」柳田充弘著、岩波新書 新赤版 387
 081|I 「ヒトの遺伝」中込弥男著、岩波新書 新赤版 431
 081|I 「がんと人間」杉村隆・垣添忠生・長尾美奈子著、岩波新書 新赤版 507
 081|I 「現代の感染症」相川正道・永倉貢一著、岩波新書 新赤版 513
 081|I 「地球温暖化を防ぐ：20世紀型経済システムの転換」佐和隆光著、岩波新書 新赤版 529
 081|I 「水族館のはなし」堀由紀子著、岩波新書 新赤版 575
 081|I 「肺の話」木田厚瑞著、岩波新書 新赤版 582
 081|I 「がんの予防：新版」小林博著、岩波新書 新赤版 603
 081|I 「ダイオキシン」宮田秀明著、岩波新書 新赤版 605
 081|I 「科学の目 科学のこころ」長谷川眞理子著、岩波新書 新赤版 623
 081|I 「恐竜たちの地球：カラー版」富田幸光著、岩波新書 新赤版 637
 081|I 「ヒトゲノム：解説から応用・人間理解へ」榊佳之著、岩波新書 新赤版 728
 081|I 「植物のこころ」塚谷裕一著、岩波新書 新赤版 731
 081|I 「放射線と健康」館野之男著、岩波新書 新赤版 745
 081|I 「私の脳科学講義」利根川進著、岩波新書 新赤版 755
 081|I 「狂牛病：人類への警鐘」中村靖彦著、岩波新書 新赤版 759
 081|I 「分子生物学入門」美宅成樹著、岩波新書 新赤版 777
 081|I 「遺伝子とゲノム：何が見えてくるか」松原謙一著、岩波新書 新赤版 815
 081|I 「食の世界にいま何がおきているか」中村靖彦著、岩波新書 新赤版 817
 081|I 「感染症とたたかう：インフルエンザと SARS」岡田晴恵・田代真人著、岩波新書 新赤版 870
 081|I 「細胞紳士録：カラー版」藤田恒夫・牛木辰男著、岩波新書 新赤版 880
 081|I 「精子の話」毛利秀雄著、岩波新書 新赤版 892
 081|I 「性転換する魚たち：サンゴ礁の海から」桑村哲生著、岩波新書 新赤版 909
 081|I 「新型インフルエンザ：世界がふるえる日」山本太郎著、岩波新書 新赤版 1035
 081|I 「疑似科学入門」池内了著、岩波新書 新赤版 1131
 081|I 「パンデミックとたたかう」押谷仁・瀬名秀明著、岩波新書 新赤版 1219, 2009.
 081|I 「DNA がわかる本」中内光昭著、岩波ジュニア新書 291
 081|I 「心と脳の科学」荻阪直行著、岩波ジュニア新書 298
 081|I 「進化とはなんだろうか」長谷川眞理子著、岩波ジュニア新書 323
 081|I 「新エイズの基礎知識」山本直樹・山本美智子著、岩波ジュニア新書 328
 081|I 「生きものは昼夜をよむ：光周性のふしぎ」沼田英治著、岩波ジュニア新書 352
 081|I 「新植物をつくりだす」岡田吉美著、岩波ジュニア新書 368
 081|I 「骨と骨組みのはなし」神谷敏郎著、岩波ジュニア新書 374
 081|I 「理科がおもしろくなる 12 話」山口幸夫著、岩波ジュニア新書 379
 081|I 「筋肉はなぜ動く」丸山工作著、岩波ジュニア新書 383
 081|I 「植物は何を見ているか」古谷雅樹著、岩波ジュニア新書 408
 081|I 「からだの部品事典」新妻昭夫編著、岩波ジュニア新書 464
 081|I 「宇宙と生命の起源：ビッグバンから人類誕生まで」嶺重慎、小久保英一郎編、岩波ジュニア新書 477
 081|I 「人類 vs 感染症」岡田晴恵著、岩波ジュニア新書 491
 081|I 「米をつくる 米でつくる」西沢江美子著、岩波ジュニア新書 496

081||I「草花のふしぎ世界探検：カラー版」ピッキオ編著、岩波ジュニア新書 499
 081||I「ウイルスってなんだろう」岡田吉美著、岩波ジュニア新書 503
 081||I「酵素のちから：生命を支える」左右田健次著、岩波ジュニア新書 506
 081||I「いま、この研究がおもしろい」岩波書店編集部編、岩波ジュニア新書 509, 2005.
 081||I「脳のはたらきがわかる本」小長谷正明著、岩波ジュニア新書 526
 081||I「ジュニアダイエット：自分のための栄養学入門」渡辺満利子著、岩波ジュニア新書 534
 081||I「新版 ごみから地球を考える」八太昭道著、岩波ジュニア新書 549, 2006.
 081||I「遺伝暗号のナゾにいどむ」岡田吉美著、岩波ジュニア新書 560, 2007.
 081||I「細胞のはたらきがわかる本」伊藤明夫著、岩波ジュニア新書 575, 2007.
 081||I「いま、この研究がおもしろい: Part2」岩波書店編集部編、岩波ジュニア新書 580, 2007.
 081||I「ミクロにひそむ不思議：電子顕微鏡で身近な世界を見る」牛木辰男、甲賀大輔著、岩波ジュニア新書 582, 2008.
 081||I「クモの糸の秘密」大崎茂芳著、岩波ジュニア新書 595, 2008.
 081||I「いのちをはぐくむ農と食」小泉武夫著、岩波ジュニア新書 596, 2008.
 081||I「人類が生まれるための12の偶然」眞淳平著、岩波ジュニア新書 626, 2009.
 081||I「モグラ博士のモグラの話」川田伸一郎著、岩波ジュニア新書 634, 2009.
 081||I「脳科学の教科書：神経編」理化学研究所脳科学総合研究センター編、岩波ジュニア新書 680, 2011.
 081||I「タバコとわたしたち」大野竜三著、岩波ジュニア新書 690, 2011.
 081||I「カンタン実験で環境を考えよう」篠原功治著、岩波ジュニア新書 689, 2011.
 081||I「スポーツ科学の教科書：強くなる・うまくなる近道」谷本道哉編著、岩波ジュニア新書 702, 2011.
 081||I「こうして治すアトピー」竹原和彦著、岩波アクティブ新書 8, 2002.
 081||I「ここまで進んだ花粉症治療法」佐橋紀男・NPO 花粉情報協会著、岩波アクティブ新書 14, 2002.
 081||I「金魚がウチにやってきた」木村義志著、岩波アクティブ新書 28, 2002.
 081||I「生活習慣病へのアドバイス」堀三郎著、岩波アクティブ新書 50, 2002.
 081||I「健康長寿のための食生活：腸内細菌と機能性食品」光岡知足著、岩波アクティブ新書 55, 2002.
 081||I「がん・免疫と温熱療法」菅原努・畑中正一著、岩波アクティブ新書 89, 2003.
 081||I「新型インフル：パンデミックを防ぐために」外岡立人著、岩波ブックレット 877, 2013.
 081||K「動物たちはこうして会話する：クジラは歌をうたい、蜂はダンスを踊る」永戸豊野著、KAWADE 夢新書 S104
 081||K「ウイルスの正体と脅威：人類はこの謎の物体に勝つことはできるのか」中原英臣著、KAWADE 夢新書 S108
 081||K「人の顔を変えたのは何か」原島博・馬場悠男著、KAWADE 夢新書 S114
 081||K「生命進化の鍵はウイルスが握っていた」中原英臣・佐川峻著、KAWADE 夢新書 S119
 081||K「マンモスが現代によみがえる」後藤和文著、KAWADE 夢新書 S121
 081||K「なぜヒトの性だけ複雑になったのか」大島清著、KAWADE 夢新書 S127
 081||K「植物は考える：彼らの知られざる驚異の能力に迫る」大場秀章著、KAWADE 夢新書 S131
 081||K「遺伝子組み換え食品の恐怖」渡辺雄二著、KAWADE 夢新書 S137
 081||K「男脳と女脳こんなに違う」新井康允著、KAWADE 夢新書 S138
 081||K「ヒト・ゲノムの暗号を読む：人が人になる遺伝子の不思議」軽部征夫著、KAWADE 夢新書 S144
 081||K「環境ホルモンの正体と恐怖：われわれの生殖に重大な異変が忍び寄る」小山寿著、KAWADE 夢新書 S153
 081||K「病気になる家：人体をむしばむ化学物質の正体と恐怖」渡辺雄二著、KAWADE 夢新書 S161
 081||K「水道水の危ない話：いま、飲み水に忍び寄る新たな恐怖」小山寿著、KAWADE 夢新書 S182
 081||K「食品表示ここを、こう見る」渡辺雄二著、KAWADE 夢新書 S193
 081||K「知らないと怖い食物アレルギー」松延正之著、KAWADE 夢新書 S198
 081||K「感染症から身を守る本：見えない敵の正体と脅威、これだけは知りなさい」岡部信彦著、KAWADE 夢新書 S200
 081||K「細菌の逆襲が始まった：抗生物質が効かない耐性菌とどう闘うか」宮本英樹著、KAWADE 夢新書 S204
 081||K「科学のニュースについていける本」白鳥敬著、KAWADE 夢新書 S260
 081||M「いのちのネットワーク：環境と健康のリスク科学」松原純子著、丸善ライブラリー 42
 081||M「人間は生命を創れるか：進化学のあゆみと未来」五条堀孝著、丸善ライブラリー 170
 081||M「食品添加物：安全神話の崩壊」渡辺雄二著、丸善ライブラリー 208
 081||M「遺伝子からのメッセージ」井上薫著、丸善ライブラリー 242
 081||M「環境ホルモン：人類の未来は守られるか」高杉暹・井口泰泉編、丸善ライブラリー 275
 081||M「インフルエンザ：新型ウイルスの脅威」菅谷憲夫著、丸善ライブラリー 308, 1999.
 081||M「夢!21世紀の生命科学」丸山工作・丸山敬著、丸善ライブラリー 334
 081||M「ヒトは細菌に勝てるのか」吉川昌之介著、丸善ライブラリー 344
 081||M「ヒトゲノムと遺伝子治療」本橋登著、丸善ライブラリー 358
 145.2||T「夢を見る脳：脳生理学からのアプローチ」鳥居鎮夫著、中公新書 860
 440||M「生命はどこから来たのか?：アストロバイオロジー入門」松井孝典著、文藝春秋, 2013.
 440||Y「アストロバイオロジー：宇宙に生命の起源を求めて」山岸明彦編、化学同人, 2013.

- 440.4||S「生命の起源をさぐる：宇宙からよみとく生物進化」日本宇宙生物科学会編、東京大学出版会、2010.
- 451||K「よくわかる地球温暖化問題」気候ネットワーク編、中央法規出版
- 451||K「地球温暖化問題に答える」小宮山宏著、UP 選書 272、東京大学出版会
- 451||N「地球温暖化と海：炭素の循環から探る」野崎義行著、東京大学出版会
- 452||V「海の自然史」ティアート・H・ファン・アンデル著、築地書館
- 460||K「絵でわかる生命のしくみ」黒谷明美著、講談社、2004.
- 460||O「絵でわかる生物の不思議」太田次郎監修、講談社、2003.
- 460||S「生物科学入門：代謝・遺伝・恒常性」白木賢太郎著、東京化学同人、2009.
- 460.2||S「生物学のあゆみ」鈴木善次著、理科教育のための科学史3、第一法規出版
- 460.3||S「生物の小事典」石浦章一・小林秀明・塚谷裕一著、岩波ジュニア新書 367
- 460.4||Y「生物の論理：分子・細胞・進化」矢原一郎著、岩波書店
- 461||S「生命を捉えなおす：生きている状態とは何か：増補版」清水博著、中公新書 503
- 461.6||K「アストロバイオロジー：宇宙が語る「生命の起源」」小林憲正著、岩波書店、2008.
- 463||H「シートからの身体づくり：生物が採用した自己構築法」本多久夫著、中公新書 1035
- 463||K「絵でわかる細胞の世界」黒谷明美著、講談社、2001.
- 463||N「染色体の研究」中西宥著、UP biology 45、東京大学出版会
- 463||N「細胞のマイクロ探検：見えないものを見る」浜口幸久ほか著、日本学術協力財団
- 463.8||S「エビジェネティクス入門：三毛猫の模様はどう決まるのか」佐々木裕之著、岩波書店、2005.
- 464||H「酸素と生命」早石修著、UP biology 55、東京大学出版会
- 464||I「遺伝子から生命をみる：分子生物学の誕生と発展」関口睦夫ほか著、共立出版
- 464||L「生と死の自然史：進化を統べる酸素」ニック・レーン著、遠藤圭子訳、東海大学出版会、2006.
- 464||T「酵素のはたらき」徳重正信著、UP biology 70、東京大学出版会
- 464.8||W「バイオミネラリゼーション：生物が鉱物を作ること不思議」渡部哲光著、東海大学出版会、1997.
- 465||M「微生物の世界」宮道慎二ほか編、筑波出版会、2006.
- 465||O「植物ウイルスと分子生物学」岡田吉美著、UP biology 24、東京大学出版会
- 465||S「菌類・細菌・ウイルスの多様性と系統」杉山純多編集、裳華房、2005.
- 467||F「保全遺伝学入門」R. Frankham 他著、高橋洋他訳、文一総合出版、2007.
- 467||H「性と病気の遺伝学」堀浩著、海游舎
- 467||I「遺伝子科学」石川辰夫著、UP biology 71、東京大学出版会
- 467||K「集団の進化：種形成のメカニズム」北川修著、UP biology 86、東京大学出版会
- 467||O「tRNA の分子遺伝学」小関治男著、UP biology 96、東京大学出版会
- 467||S「ヒトゲノム=生命の設計図を読む」清水信義著、岩波科学ライブラリー 82
- 467.3||N「絵でわかるゲノム・遺伝子・DNA」中込弥男著、講談社、2002.
- 467.3||N「絵でわかるゲノム・遺伝子・DNA、新版」中込弥男著、講談社、2011.
- 467.3||N「Y染色体からみた日本人」中堀豊著、岩波書店、2005.
- 468.4||I「寄生と共生」石橋信義、名和行文編著、東海大学出版会、2008.
- 468.4||N「共生細菌の世界：したたかで巧みな宿主操作」成田聡子著、東海大学出版会、2011.
- 468.8||M「This living ocean：海洋生物の世界」益田一著、東海大学出版会、1996.
- 468.8||T「海のふしぎ「カルタ」読本」高田浩二著、萩原洋子絵、東海大学出版会、2007.
- 468.8||T「海洋生物学入門」東海大学海洋学部海洋生物学科著、村山司編、東海大学出版会、2008.
- 468.8||T「海と生命：「海の生命観」を求めて」塚本勝巳編、東海大学出版会、2009.
- 468.8||W「海洋生物の石灰化と硬組織」和田浩爾、小林巖雄編著、東海大学出版会、1996.
- 469||S「サルの世界、ヒトの世界：人生計画の生物学」D.スプリング著、京都大学学術出版会、2004.
- 470||H「野の花さんぽ図鑑」長谷川哲雄著、築地書館、2009.
- 471||F「光合成：明反応研究の流れ」藤茂宏著、UP biology 47、東京大学出版会
- 471||S「光合成とはなにか：生命システムを支える力」園池公毅著、ブルーバックス B-1612、講談社、2008
- 471||S「絵でわかる植物の世界」清水晶子著、講談社、2008.
- 471||T「変わる植物学 広がる植物学：モデル植物の誕生」塚谷裕一著、東京大学出版会
- 471||Y「花の性：その進化を探る」矢原徹一著、東京大学出版会
- 471||Y「高等植物の二次代謝」吉田精一・南川隆雄著、UP biology 28、東京大学出版会
- 471.1||K「身近な植物から花の進化を考える」小林正明著、東海大学出版会、2001.
- 471.71||S「植物のかたち：その適応的意義を探る」酒井聡樹著、京都大学学術出版会、2002.
- 471.8||K「植物の多様性と系統」加藤雅啓編集、裳華房、1997.
- 474||C「藻類の多様性と系統」千原光雄編、裳華房、1999.
- 474||I「藻類 30 億年の自然史 第2版：藻類から見る生物進化・地球・環境」井上勲著、東海大学出版会、2007.
- 474.7||K「菌類のふしぎ：形とはたらきの驚異の多様性」国立科学博物館編、東海大学出版会、2008.

- 476||I「シダ植物の自然史」岩槻邦男著、東京大学出版会
- 480||T「飼育係が見た動物のヒミツ 51」多摩動物公園著、築地書館、2008.
- 480.34||A「虫の名、貝の名、魚の名：和名にまつわる話題」青木淳一、奥谷喬司、松浦啓一編著、東海大学出版会、2002.
- 480.76||N「水族館の仕事」西源二郎、猿渡敏郎編著、東海大学出版会、2007.
- 480.76||S「研究する水族館：水槽展示だけではない知的な世界」猿渡敏郎、西源二郎編著、東海大学出版会、2009.
- 481||K「保全遺伝学」小池裕子・松井正文編、東京大学出版会
- 481||M「ちょっとアカデミックなお産の話」村上枝彦著、海游舎
- 481||S「筋運動の進化」杉晴夫著、UP biology 23、東京大学出版会
- 481||T「発生遺伝学：脊椎動物のからだと器官のなりたち」武田洋幸・相賀裕美子著、東京大学出版会、2007.
- 481.1||E「遺体科学の挑戦」遠藤秀紀著、東京大学出版会、2006.
- 481.2||C「シマウマの縞 蝶の模様」ショーン・B・キャロル著；渡辺政隆、経塚淳子訳、光文社、2007.
- 481.2||C「DNA から解き明かされる形づくりと進化の不思議」S.B.Carroll, J.K.Grenier, S.D.Weatherbee 著、羊土社、2003.
- 481.2||M「新編 精子学」森沢正昭・星和彦・岡部勝編、東京大学出版会、2006.
- 481.35||Y「比較生殖学」山岸宏著、東海大学出版会、1995.
- 481.37||G「環境を「感じる」：生物センサーの進化」郷康広・颯田葉子著、岩波書店、2009.
- 481.72||S「泳ぐ DNA」猿渡敏郎編著、東海大学出版会、2007.
- 481.74||F「潜水調査船が観た深海生物：深海生物研究の現在」藤倉克則、奥谷喬司、丸山正編著、東海大学出版会、2008.
- 481.74||H「深海の生物学」ピーター・ヘリング著；沖山宗雄訳、東海大学出版会、2006.
- 483||I「線虫の生物学」石橋信義編、東京大学出版会
- 483||S「無脊椎動物の多様性と系統：節足動物を除く」白山義久編集、裳華房、2000.
- 483||S「クマムシ?!：小さな怪物」鈴木忠著、岩波書店、2006.
- 483.41||A「切っても切ってもプラナリア」阿形清和文；土橋とし子絵、新装版、岩波書店、2009.
- 484||O「貝のミラクル：軟体動物の最新学」奥谷喬司編著、東海大学出版会、1997.
- 484||S「貝類学」佐々木猛智著、東京大学出版会、2010.
- 484.6||H「ウミウシ学：海の宝石、その謎を探る」平野義明著、東海大学出版会、2000.
- 484.7||O「新鮮イカ学」奥谷喬司編著、東海大学出版会、2010.
- 484.96||M「ウニ学」本川達雄編著、東海大学出版会、2009.
- 485||I「節足動物の多様性と系統」石川良輔編集、裳華房、2008.
- 485||K「フジツボ：魅惑の足まねき」倉谷うらら著、岩波書店、2009.
- 485||Y「ナメクジウオ：頭索動物の生物学」安井金也・窪川かおる著、東京大学出版会
- 485.73||O「クモ学：摩訶不思議な八本足の世界」小野展嗣著、東海大学出版会、2002.
- 486||I「アブラムシの生物学」石川統編、東京大学出版会
- 486||S「テントウムシの自然史」佐々治寛之著、東京大学出版会
- 486.1||F「飛ぶ昆虫、飛ばない昆虫の謎」藤崎憲治、田中誠二編著、東海大学出版会、2004.
- 486.1||S「脱皮と変態の生物学：昆虫と甲殻類のホルモン作用の謎を追う」園部治之ほか著、東海大学出版会、2011.
- 486.1||T「休眠の昆虫学：季節適応の謎」田中誠二、檜垣守男、小滝豊美編著、東海大学出版会、2004.
- 486.1||T「耐性の昆虫学」田中誠二、小滝豊美、田中一裕編著、東海大学出版会、2008.
- 486.7||S「ミツバチ学」菅原道夫著、東海大学出版会、2005.
- 486.8||S「チョウの斑紋多様性と進化：統合的アプローチ」関村利朗、藤原晴彦、大滝丈二監修、海游舎、2017.
- 486.9||S「ハエ学：多様な生活と謎を探る」篠永哲、寫洪編著、東海大学出版会、2001.
- 487||M「両生類の進化」松井正文著、東京大学出版会
- 487||M「脊椎動物の多様性と系統」松井正文編、裳華房、2006.
- 487||R「脊椎動物デザインの進化」Leonard B. Radinsky 著、海游舎
- 487.5||T「魚のつぶやき」高田浩二著、東海大学出版会、2006.
- 487.5||U「新版 魚の分類の図鑑：世界の魚の種類を考える」上野輝彌、坂本一男著、東海大学出版会、2005.
- 487.51||A「魚のエピソード：魚類の多様性生物学」尼岡邦夫編著、東海大学出版会、2001.
- 487.51||K「魚類学実験テキスト」岸本浩和、鈴木伸洋、赤川泉編著、東海大学出版会、2006.
- 487.51||M「魚の形を考える」松浦啓一編著、東海大学出版会、2005.
- 487.76||M「カジカ類の多様性：適応と進化」宗原弘幸、後藤晃、矢部衛編著、東海大学出版会、2011.
- 488||T「トキの研究」丁長青編著；蘇雲山、市田則孝訳、新樹社
- 488.99||O「さえずり言語起源論：新版 小鳥の歌からヒトの言葉へ」岡ノ谷一夫著、岩波書店、2010.
- 489||E「哺乳類の進化」遠藤秀紀著、東京大学出版会
- 489||M「海獣水族館：飼育と展示の生物学」村山司、祖一誠、内田詮三編著、東海大学出版会、2010.
- 489||O「クジラは昔陸を歩いていた：史上最大の動物の神秘」大隅清治著、PHP 研究所
- 489||O「哺乳類の生物学 2 形態」大泰司紀之著、東京大学出版会
- 489||S「サルを見て人間本性を探る」杉山幸丸著、人間選書、農山漁村文化協会

- 489|S「有袋類の道：アジア起源説に浮かぶ点と線」瀬戸口烈司著、新樹社
- 489|T「哺乳類の生物学3 生理」坪田敏男著、東京大学出版会
- 489.41|K「モグラ：見えないものへの探求心」川田伸一郎著、東海大学出版会、2010.
- 489.57|O「ツキノワグマ：クマと森の生物学」大井徹著、東海大学出版会、2009.
- 489.57|T「日本のクマ：ヒグマとツキノワグマの生物学」坪田敏男・山崎晃司編、東京大学出版会、2011.
- 489.6|M「イルカ・クジラ学：イルカとクジラの謎に挑む」村山司、中原史生、森恭一編著、東海大学出版会、2002.
- 489.6|M「鯨類学」村山司編著、東海大学出版会、2008.
- 489.6|M「イルカ・クジラ」村山司著、東海大学出版会、2011.
- 489.9|O「サルのことば：比較行動学からみた言語の進化」小田亮著、京都大学学術出版会、1999.
- 489.9|S「サルの生き方ヒトの生き方」杉山幸丸著、農山漁村文化協会
- 489.95|M「サルとバナナ」三戸幸久著、東海大学出版会、2004.
- 489.95|O「たちまわるサル：チベットのモンキーの社会的知能」小川秀司著、京都大学学術出版会、1999.
- 489.95|T「「知恵」はどう伝わるか：ニホンザルの親から子へ渡るもの」田中伊知郎著、京都大学学術出版会、1999.
- 490.19|S「宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ」佐藤俊哉著、岩波書店、2005.
- 491.1|H「スキンケアの科学」服部道廣著、裳華房、1997.
- 491.3|I「脳のメカニズム：頭はどうかはたらくか」伊藤正男著、岩波ジュニア新書 115
- 491.3|K「老化とホルモン」川島誠一郎著、UP biology 95、東京大学出版会
- 491.3|K「人間という生き物」上領達之著、培風館、2006.
- 491.3|M「絵でわかる体のしくみ」松村譲児著、講談社、2002.
- 491.3|N「脳科学の現在：神経生理学・認知科学・数理工学から」酒田英夫ほか著、中公新書 826
- 491.3|G「神経と化学伝達」後藤秀機著、UP biology 69、東京大学出版会
- 491.3|T「思わず誰かに話したくなる人体のはなし」當瀬規嗣著、秀和システム、2013.
- 491.31|O「細胞寿命を乗り越える：ES細胞・iPS細胞、その先へ」帯刀益夫・杉本正信著、岩波書店、2009.
- 491.32|I「新訂 血液型の話」石山昱夫著、サイエンス社、1989.
- 491.32|Y「絵でわかる血液のはたらき」八幡義人著、講談社、2008.
- 491.35|A「科学でわかる男と女になるしくみ：ヒトの性は、性染色体だけでは決まらない」麻生一枝著、サイエンス・アイ新書 228、2011.
- 491.37|F「予想脳 = Predicting brains」藤井直敬著、岩波書店、2005.
- 491.37|H「なぜ、歩くと脳は老いにくいのか」久恒辰博著、PHPサイエンス・ワールド新書 028、2010.
- 491.37|K「絵でわかる脳のはたらき」黒谷亨著、講談社、2002.
- 491.37|M「愛は脳を活性化する」松本元著、岩波書店、1996.
- 491.37|S「ブレイン・アーキテクチャ：進化・回路・行動からの理解」ラリー・スワンソン著、東京大学出版会、2010.
- 491.4|T「からだと光の事典」太陽紫外線防御研究委員会編、朝倉書店、2010.
- 491.6|Y「ヒトゲノムとあなた：遺伝子を読み解く」柳澤桂子著、集英社
- 491.65|N「絵でわかるがん遺伝子」野島博著、講談社、2009.
- 491.69|M「遺伝子の検査でわかること」宮地勇人著、東海大学出版会
- 491.7|B「腸内環境学のすすめ」辨野義己著、岩波書店、2008.
- 491.77|Y「ウイルスと人間」山内一也著、岩波書店、2005.
- 491.8|A「絵でわかる免疫」安保徹著、講談社、2001.
- 491.8|T「新・免疫の不思議」谷口克著、岩波書店、2004.
- 492.1|K「わたしの病気は何ですか?：病理診断科への招待」近藤武史・榎木英介著、岩波書店、2010.
- 493.1|O「アレルギー」岡村友之著、ナツメ社
- 493.14|I「花粉症のワクチンをつくる!」石井保之著、岩波書店、2010.
- 493.46|K「からだの中の外界 腸のふしぎ：最大の免疫器官にして第二のゲノム格納庫」上野川修一著、講談社、2013.
- 493.73|K「プリオン病の謎に挑む」金子清俊著、岩波書店、2003.
- 493.87|O「新型インフルエンザ H5N1」岡田晴恵・田代真人著、岩波書店、2007.
- 494.8|D「皮膚は考える」傳田光洋著、岩波書店、2005.
- 494.8|S「太陽紫外線と健康：なぜ太陽紫外線は有害なのか?」菅原努・野津敬一著、裳華房、1998.
- 496.7|TR「鼻の話」高橋良著、岩波新書 黄版 76
- 518.2|H「ごみから地球を考える」八太昭道著、岩波ジュニア新書 192、1991.
- 519|C「ダイオキシンと環境ホルモン：新聞記事データベース」地球環境情報センター編、現代書館、1998.
- 519|F「菜の花エコ革命」藤井絢子、菜の花プロジェクトネットワーク編著、創森社
- 519|I「環境ホルモンを考える」井口泰泉著、岩波書店、1998.
- 519|K「水産環境における内分泌攪乱物質」川合真一郎・小山次朗編、恒星社厚生閣、2000.
- 519|K「内分泌かく乱物質研究の最前線」日本化学会編、学会出版センター、2001.
- 519|K「環境ホルモンと人類の未来」吉沢逸雄・三浦敏明・伊藤慎二著、三共出版、2003.

- 519|M「生殖に何が起きているか：環境ホルモン汚染」村松秀著，日本放送出版協会，1998.
- 519|N「ダイオキシンと環境ホルモン」日本化学会編，東京化学同人，1998.
- 519|N「ダイオキシン・環境ホルモン」日本科学者会議編，旬報社，2002.
- 519|N「アプローチ環境ホルモン：その基礎と水環境における最前線」日本水環境学会関西支部編，技報堂出版，2003.
- 519|T「環境ホルモン入門」立花隆・東京大学教養学部立花隆ゼミ著，新潮社，1998.
- 519|Z「図解雑学 環境ホルモン」中原英臣監修，ナツメ社，2002.
- 519.8|N「つながるいのち：生物多様性からのメッセージ」日本環境ジャーナリストの会著，山と溪谷社
- 564|T「鉄学：137億年の宇宙誌」宮本英昭・橘省吾・横山広美著，岩波書店，2009.
- 578.5|O「炭素：微生物と水環境をめぐって」大谷杉郎，小島昭著，東海大学出版会，2004.
- 615|K「ニカメイガ：日本の応用昆虫学」桐谷圭治・田付貞洋編，東京大学出版会，2009.
- 616|S「イネの歴史」佐藤洋一郎著，京都大学学術出版会，2008.
- 642|Y「どうする・どうなる口蹄疫」山内一也著，岩波書店，2010.
- 645|T「人と犬のきずな：遺伝子からそのルーツを探る」田名部雄一著，裳華房
- 649|O「脳とプリオン：狂牛病の分子生物学」小野寺節・佐伯圭一著，朝倉書店
- 664|T「居酒屋の魚類学」高田浩二著；大隅洋子絵，東海大学出版会，2010.
- 944|S「鼻行類：新しく発見された哺乳類の構造と生活」シュテュンペケ，シュタイナー著，思索社
- 949|I「カール・フォン・リンネ」トミー・イーセスコグ著，東海大学出版会，2011.